

七月から操業開始

内郷は炭鉱のマチとして栄え、一時は人口四万人をこえたが、斜陽化でさびれ、炭鉱の遺物スリ山だけが残されたマチはさびれる一方で当時の内郷市当局はスリ山に旧地を造成しようとして計画、昨年九月着工した。同旧地は約十一万八千八百平方メートル。こうした状態のなかにあつて都市から近く、空気の澄んだ環境の良いとこそを、と物色したボンジー化粧品が同旧地に白羽の矢を立てた。いわき市当局も乗り気で工場誘致にため本決まりとなつた。

ボンジー化粧品は旧地十二万八千八百平方メートルに六億円を投じ、延べ一千三百二十平方メートルの製びん、プラスチック工場と六百六十平方メートルの事務所、情報センターの建設所、情報センター、四百平方メートルの原料栽培室をこし七月までに完成、続いて九月までに二期工事として六百六十平方メートルの宿泊施設と六百六十平方メートルの美容センターを建設する。とりあえず七月から操業を開始、地元から二百人の従業員を採用すると、二期工事完成と同時に鶴見、小田原、豊島、小金井にある四工場に内郷につし従業員は四百人にするといふ大企業で、工場周辺をグリーンベルトにするといふ。二十六日に設計図が完成するが、産炭地事業団の融資もほぼ決まり、二月十日に起工式が行なわれた。同旧地にボンジー化粧品の工場が完成すると高坂旧地は一変にきやかなマチになる。

小名浜の話題に上る

新産業都市建設の波にの
て新発足したいわき市の工場
進出は着々として進み、全国
的にも優位の伸び率を示して
いるが、泉地区に達成された
中央工業団地に建築材料の合
板を生産する一流メーカ永大
産業（本社大阪市住吉区立村
南の町三三、資本金十二億五
千万円、深尾茂社長）の進出
がほぼ決まった模様。

定された小名港の外材を始め
木材の輸入を生かし、合板製
造を目的としたもので、この
ほか北海道の合板メーカがこ
ゝに進出希望の話が出てい
る。永大産業の進出については
異が主体となつて内々話し合
いを進めて来たもので、進出
の時期、規模についてはまだ
公表されないが、年内進出は
間違いないとみられている。

20日から三日間

度老人福祉法に基づく老人
康診断は二十日から三日間
暖房完備の平市民会館で行

一億三千万で来年度完成

いわき市平下高久地区を流れる清津川は、川幅が狭い上にカブが多く、大雨でも降るものならはらんし、高波が来るまで海水が逆流して河口近くの水田は毎年のように水害や塩害に悩まされて来た

になり、山木工業と加地和組が勝負、近く着工する。今年度の事業費は四千六百万円田で、幅四・五メートルの水路一万三千八百二十七メートルが設けられるが、これが完成すると同地区の区画整理

ヤンマー社長

いわき市平字一丁目福島県
ヤンマー会会長新妻良平氏で
は昨年九月から十二月までヤ
ンマー農業機械を賣上げたの
と三千人を去る六日から一週
間常夏の国ハワイアンセンタ

▽20日Ⅱ1区13区まで二百二十五人▽21日Ⅱ14区21区まで、二百三十四人▽23日Ⅱ22区29区、52、53区、二百四十三人

市公平委員
長に市井氏

一六六

ホルモン焼・ジンギスカン
お酒・ビール

はるみ

平南町 丸丹タクシーウニ

二千万で来年度完成

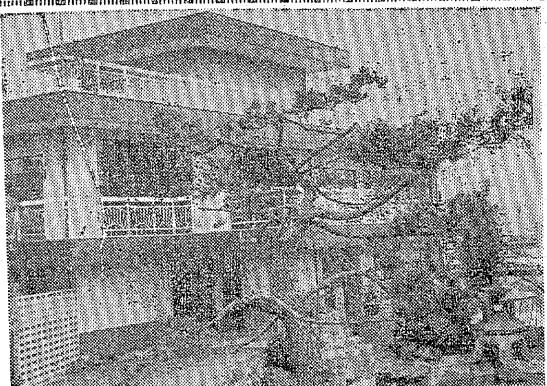
事業百二十三・九ヘクター
(うち水田九十三・九三ヘクタール畑十四・〇三メートル)
全部が完成することにな
同地区を流れる滑津川の中
良を計画していた平土木事
所では、区画整理事業が実

が莊を建立していたが
完成した。六疊と四

畳半の二間と土間のいろりに
自在かきといった家だが木羽
ぶき家根、電気を使わず石油
ランプ。それに寺小屋時代に
使った古い机など使用。
自然に湧き出る水で池を造る

ナ カ ㄱ

平市三丁目 TEL 4535



結 婚 式 に
ご 会 合 に
御 宿 泊 に
明るく 広く 爽やかに そして静かな

日 観 連 旅 館 ホ テ ル 報 徳
日本交通公社協定旅館
TEL (平) 5 5 2 2 代
東京案内所 台東区上野花園町13電 (828) 3607

つらぬき通す奉仕と良心



平	店	でんわ	(平)	代表	7171	平	店	でんわ	(平)	代表	7171		
小	名	浜	店	でんわ	(警)	②4191	小	名	浜	店	でんわ	(警)	②4191
植	田	店	でんわ	(物)	②2171	植	田	店	でんわ	(物)	②2171		
湯	本	店	でんわ	(警)	4141	湯	本	店	でんわ	(警)	4141		

スアリンク式
東和シヤッター

最高の戸締り・最低の価格・最後迄奉仕

久野金物店シャッター部

平市三丁目 電 4648

季節の料理
かなべ料理
かきしり

平駅前店開業

平才樋小路店 電話 二七二七
 三〇二二

新発売！
大印（ほっじ茶）
大門印（ほうじ茶）

大勝園茶舖
平字三丁目
電二三九六

甘太郎の
鯛焼

真根井菓子店

四月発足、新役員も選任

次のとおり、適ひ適場拍手でき
進(2)石炭産業合理化とこれに
伴う産炭地商工業者対策と産
炭地域振興に關し、緊急施策

調査船

船長の二職案を議した。
初代、会頭に選ばれた山崎平雲頭は「諸産業の総合的相談指導を行なうのがわれわれに課せられた使命だ。この使節先達のため人間関係を一番ににおき、職員の間和を図って並びに電化促進(8)常盤高速自
と長期方策の確立(8)産業誘致のための各地経済界に対し当地の産業立地条件のPRと緊密な連絡提携(4)産業発展に伴う人造りとしての大字建設と高校増設(3)常盤線電化、緩線化及び磐越東線一本化運転(1)が、このほど進水した。これから各種試験運転のつえ

漁船から期待さる

中旬あたりから漁場調査などを
をはしめる。同船は、長さが
十三・三五メートルの木造船
で、建造費は、装備費なども
あくめて千百万円。船体は小
型だが漁船型など、全国に誇
る新鋭船である。

太平洋海区の各漁船から大いに期待がよせられている。

役員は次のとおり。

◎会長＝高木武一郎（勿来）
◎会長代行者＝飯塚勝（磐井）
◎部会長＝平＝石山一治
▽磐城＝飯塚勝
▽勿来＝高木
武一郎
▽常磐＝鈴木道太郎
内郷＝田谷兼広
▽四倉＝片寄

平の生んだ世界的作曲家八橋検校の
作曲せる名曲「六段の曲」を記念する

六段本舖 平 凡 平 駅 前
電 2. 5 0 9

市川八店

平 中央通り 電二九三六
三十米通り支店 電五九一三
工場 旧城跡 電五九〇六

木子卜

平 · 二丁目 TEL . 2607

工業関係が狭い門に

石城地区中学校、高等学校、長連絶協賛会は一日午後一時からいわき市内郷御殿町の金谷保養所で開かれ、高校進学希望者の調整を行なった。席上いわき中学校長会進路指導部(小松藤治郎部長)が調査した々高校進学希望者数々が公表された。

り三十八人少なくなっている。またこしは県、私立とも募集定員を減らし、合計で五千八百四十八人としたため合格率は昨年の七十九・八%より八・一八%上回る八十七・九八%となった。

しかし県立高校の競争率は昨年の二・二四倍より厳しい

科の一・七七倍など工業高校はあい変わらず狭き門になっている。一方名門の磐高が一・二九倍、磐女一・三倍と昨年よりやや厳し程度。

大学希望

平高

平高専から受験

これによるものの春高校に
進学する生徒は信果立六千三百
六十三人、私立百十五人、平
工二倍を記録、続いて勿来
工業建築科の二・〇倍、平工木
科の一・八倍、勿来工機九
人の学生が、それと同時に十
分行き、残る半数は四年で中
退するものと同校を修了して

一・二六倍、なかでも平工機
械科は技術者ブームの影響か、
平高専（佐藤光校長）この
望している。この十九人の半
分は同校三年生で退学して大

いわき市内から受験

いわき市内の高校から今春国立大学入学者希望者は三百九十二人である。既に願書を出し一番多いのは東北大で九十二人、千葉大六十九人、岩手大三十六人、東大六十四人などである。各高校の受験者数左の通り。

【磐高】▽東北大八〇 岩手大三五▽東大二三▽千葉大三〇

▽新潟大八六▽東京教育大一〇▽北大一〇▽金沢大六▽一橋大六▽京都大五▽東京工大一

【磐女】▽千葉大三六▽東北大一〇▽お茶の水大三〇▽東京大二▽京都大

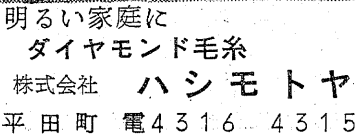
【湯来工】岩手大

【湯本高】▽千葉大二▽東京工大一

【平工】▽東北大二東大一

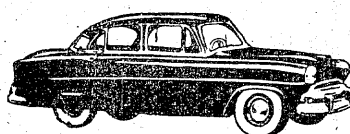
丸 本

いわき市平字三丁目 電 5 1 3 1 (代表) ~ 3



平營業所 二二七五・二六四〇
好間營業所は 五三七二
草野營業所は 五六四七

平字二丁目
厄子タケシ



安全、便利、無線車完備

レストラン
サロン
平銀座 電2592

平 中央通り 電二九三六
三十米通り支店 電五九一三
工場 旧城跡 電五九〇六

